NEWS RELEASE

平成21年４月27日

各　　位

会　　社　　名　株式会社フライトシステムコンサルティング
代表者の役職氏名　代表取締役社長　　片　山　　圭　一　朗
（コード番号:3753 東証マザーズ）
問い合せ先　取　　締　　役　　松　本　　隆　男
金(こん)　浩　樹
電　話　番　号　03-3440-6100（代）

平成21年３月期 通期業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

株式会社フライトシステムコンサルティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長　片山圭一朗、以下当社）は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月７日に公表した平成21年３月期(平成20年４月１日～平成21年３月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、今回の業績における取締役の経営責任を明確にするため、本日の取締役会において役員報酬の減額を決議いたしましたので、併せてお知らせいたします

記

１．平成21年３月期　通期業績予想数値の修正(平成20年４月１日～平成21年３月31日)

(1)個別業績　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	2,000	120	45	25
今回修正予想（Ｂ）	1,559	△187	△191	△198
増減額（Ｂ－Ａ）	△441	△307	△236	△223
増減率（％）	△22.1	－	－	－
前期実績（平成20年３月期）	1,981	113	101	△530

(2)連結業績　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想（Ａ）	3,450	65	25	25
今回修正予想（Ｂ）	3,025	△230	△256	△252
増減額（Ｂ－Ａ）	△425	△295	△281	△277
増減率（％）	△12.3	－	－	－
前期実績（平成20年３月期）	3,514	24	5	△313

２．修正の理由

業績予想修正の主たる要因は、単体のコンサルティング事業における案件の期ずれや失注による売上の減少及びそれに伴う利益の減少であります。厳しい経済環境の中、顧客側の IT 投資を控える傾向が予想以上に強いことから、受注時期の遅れ等により当期中に売上計上に至らず期ずれになる案件が発生しました。

また、民間企業の経営環境が悪化する中、官公庁をターゲットとする競合他社が急増し、受注競争（価格競争）が激化した結果、電子自治体案件の受注が予想を下回りました。

同事業における第４四半期での売上計上を見込んでいた案件は約 650 百万円ありましたが、最終的に３月末までに売上が計上できたものがその中の約５割程度、期ずれになったものが３割程度、最終的に失注となったものが２割程度となりました。なお、期ずれになった案件には、内諾を得た段階で既に相応の工数を投入しているにもかかわらず、正式受注に至っていないために発生原価を仕掛計上できなかった案件も含まれております。

連結の業績予想修正の主たる要因は、上記の通り単体の売上・利益の減少であります。

３．役員報酬の減額の内容

代表取締役　片山　圭一朗　：　月額報酬の 50%を減額
取　締　役　中原　信一郎　：　月額報酬の 30%を減額
取　締　役　米倉　憲久　　：　月額報酬の 10%を減額
取　締　役　松本　隆男　　：　月額報酬の 10%を減額
取　締　役　樋口　典子　　：　月額報酬の 10%を減額
取　締　役　杉山　隆志　　：　月額報酬の 10%を減額

対象期間：平成 21 年４月より平成 21 年９月までの６ヶ月間

４．今後の見通し

この２年半赤字が続きここまで業績面で大きな課題となっていた連結子会社、YEMエレテックス株式会社につきまして、中間決算発表時に宣言いたしました通り、平成21年３月期の下半期６ヶ月間の営業損益は約42百万円の黒字を達成する見通しです。子会社再建にもおおよそ目処が付き、単体、連結ともに新年度は黒字化を目指して邁進してまいります。

当社グループの業績回復を本格的なものにするために、懸かる状況を踏まえ、更なる企業価値の向上に向け今後下記の通り業績向上に邁進する所存です。

（１）コンサルティング事業の新年度展開状況

単体のコンサルティング事業では、平成21年３月期からの期ずれの案件が多数あり、低迷する景気環境の中、新年度が始まったばかりのこの時期としては、商談の進捗状況は非常に活況です。特に映像・メディア系ビジネスに関しては、昨年11月に業務提携を締結した株式会社朋栄との共同提案の商談が増えてきており、一部は正式受注となりました。

そしてもう１つの柱として、この景気環境下で民需が冷えている中、2006年より取り組んできた地方自治体向けのコンサルティングの領域を広げることに注力したいと考えております。政府の景気対策予算が各地方自治体に落ちる中、それらの有効的活用に向け、効率的な

IT化の推進、IT関連での雇用創出などに取り組みコンサルティング収益の大きな柱としてまいります。

また昨年立ち上げましたクリエイティブブランド「S:III:S」(シーズ)の活動に関しては、新世代の携帯電話・モバイル端末である米アップル社製携帯電話「iPhone」や携帯音楽プレーヤー「iPod touch」などを活用した情報発信のソリューションなどを中心に、前期の各種実証実験の成果を踏まえ、きちんと事業化をしてまいります。実証実験の成果により当社のソリューションに対する認知度は大きく上がっております。本事業は新年度業績への寄与が期待されており、現在いただいている引き合いを１つずつ確実に契約締結させ、収益を向上させてまいります。

（２）業務提携

昨年２月の株式会社 IBE ネット・タイムとの業務提携、昨年 11 月の株式会社朋栄との業務提携など、当社は従来から事業領域拡大のために積極的に同業他社との協業・業務提携を推進してまいりました。引き続き、相互の売上や利益に貢献する業務提携や資本提携については、期待できる効果を十分に検討したうえで、今後も積極的に取り組んでまいる所存です。

（３）資産の売却・有利子負債の削減による財務体質改善と中核事業への集中投資

活況な商談を下支えすべく、資産の売却・有利子負債の削減等、連結ベースで財務体質の改善に取り組み、限られたリソースをコアな事業に集中させてまいります。金融が引き締まっている中、他社と差別化できる中核事業に集中的に人員と資金を投下し、勝ち残って行くよう進めてまいります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報をもとにした仮定を前提としていますので、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上

株式会社フライトシステムコンサルティング
本社:東京都渋谷区恵比寿 4-6-1 恵比寿MFビル3F　　電話:03-3440-6100　　FAX:03-5791-2241
事業内容 ： デジタルコンテンツの管理・サービスを中心としたシステムコンサルティング、ネットワークやオブジェクト指向技術に関するテクニカルコンサルティング、システム開発・構築・保守と、それらを支えるソリューションプロダクツの提供。
URL ： http://www.flight.co.jp

【 本件に関するお問い合わせ先 】
株式会社フライトシステムコンサルティング　　担当 ： 松本、金
電話:03-3440-6100　　FAX:03-5791-2241　　e-mail ： info@flight.co.jp